

	質問内容	回答
人口問題	久山に住みたいと思う人が増えていますか。住民増につながっていますか。	「久山に引っ越しをしたいが場所がない」という話を聞きます。ニーズはかなり高い状況です。建てる場所はあるとしても、売りたいという所有者があまりいないのが現状です。住民の皆さんも人は増えてほしいけれども、限りなくという訳ではないと思います。久山を好きという方に住んでほしいので、久山ファンを増やしていきます。
	10年後の人口はどれくらいを考えていますか。	学校や水の問題があるので、急激に増やすことは得策ではないと考えています。まずは、10,000人を目指していますが、久山町に住みたいと思う人が転入してくる政策を行い、結果10,000人になるというのが良いと考えます。
	久山町の面積が篠栗町と同程度ということを知り、人口として2万人ぐらいが良いのではないかと思います。町長は人口を何人にしたいと考えていますか。	人口に関して都市計画の人口フレームでは13,500人となっていますが、当面は10,000人を目指します。人口が急激に増えると、学校や浄水場などのインフラ整備や後々の高齢化問題なども懸念されます。久山町に住みたいとの問い合わせが増えていくことをよく耳にしますが、今後は、町内にある空き家がポイントになってくると思います。ただし、お話があった20,000人は、久山町には多すぎるかと思えます。
空家対策	空き家問題に対して町としてどのようなアプローチを行いますか。	空き家問題は一律ではありません。行政としては空き家の発生は問題かもしれませんが、所有者は必ずしも問題と思っていないのかもしれませんが。公的に組織化することが求められており、空き家を動かす組織づくりを考えていきたいと思っています。
	空き家税については考えていないのですか。	久山町は、“空き家ばかりで手の打ちようがない”ところまではいっていないので、現在は税を徴収するよりも久山町らしい、町の状況にあった取り組みを考えていきます。
	空き家が増えています。改修などの対策はあるのですか。	空家対策事業として、一定条件を満たせばリフォーム補助金制度を利用することが可能です。新築住宅はすぐに売れますが、古くなった空き家をどうするか考えておかなければなりません。空き家を活用するには持ち主の意思がどうであるか確認する必要があります。久山では貸したい人が少なく、空き家バンクの登録はゼロという状況です。対策のひとつとしてシェアオフィスがあります。空き家を貸したいという人や借りたいという人がいれば、マッチングしていきたいので役場に相談してください。
まちづくり	「そらや」と猪野地域がつながっていないように感じます。住民の方から何をされているのか尋ねられることもあるので、機会がある毎に地域住民へ説明があるといいのではないのでしょうか。	不定期ではありますが、イベント開催の告知やイベント実施報告などを掲載した「そらや通信」を発行し、猪野地区の皆さんにお配りしていますが、さらに周知につながる発信も検討します。
	人づくりは大事なことであり、町は学校教育にも力を入れていると思いますが、成人したころに、仕事なり、居住なり受け入れてくれるところはあるのですか。	働き口があるのは大事ですが、人集めにはどの企業も苦慮しています。今までのようなものでは定住は厳しく、ものづくりなど、久山に興味を持ってもらえるものを考える必要があります。
	オリーブについては、今後どうしていくのですか。	オリーブは今以上に広げることができません。一般的にオリーブは健康のイメージがあり、健康の町を謳う久山町としては、オリーブ園の周辺の土地利用も含めて考え、今あるものでどうしていくことがいいのか検討していきます。
	小学生、中学生、高校生、大人と世代によってどんな町がいいかは違うと思うので、それぞれの世代の思いを聞く機会を作ることはできませんか。そうすることで、住民の満足度を上げることができるのではないのでしょうか。	住民の声を聞く機会を多く作っていきたく考えます。それぞれの世代のニーズもあって、その折り合いもまちづくりだと思っているので、可能な限り取り組んでいきます。
イコバス	イコバスの運用経費のうち運賃収入の割合はどれくらいですか。高齢者や高校生など利用補助を受けている人の乗車が多いのではないのですか。	コミュニティバスのイコバスは運賃を1回100円としており、赤字前提で運行にかかる経費から運賃収入を差し引いた分を赤字補填分として運行会社へ補助しています。令和4年度は運行経費が約6,500万円、運賃収入が約1,200万円ですので、運賃収入の割合は約20%になります。また、運行会社への補助が約5,200万円であり、その財源として国と県から入ってくる補助金が800万円ほどです。令和4年度のイコバス利用者数は約147,400人、内高校生は約24,000人（16.3%）。イコバスの日、高齢者無料券の利用者数は約1,300人（0.9%）でした。
	超高齢化社会で、イコバスに乗れない方も出てきた時の対応としてデマンドを導入できないのですか。	現在、篠栗駅とトリアスで市内につなぐ幹線系は継続して運行する必要があり、デマンドと並行で実施すると経費がかかりすぎます。今回、巡回バスを山田・久原に分けて検証を行い、ニーズを把握することとしています。システム料との兼ね合いなども含め、デマンドについては今後検討していきます。
	ダイヤ改正について、特に土日をもう少しどうにかならないのですか。	西鉄バスの路線見直し時に、西鉄バス路線をイコバス幹線とし、それを補完する町内巡回を残しました。今回、町内巡回の利用が少ない時間帯の運行を見直し、幹線の便数を増やしています。久山町は毎年ニーズ調査をして対応していますが、今以上の増便をしようとすると、運転士やバスの台数を増やさなければならなくなり、経費が大きく増加してしまいます。今回は町内巡回を見直しましたが、今後も利用者のニーズ調査を行いながら改善を図っていきます。
	町内巡回のイコバスが不便になったように感じます。日曜は昼からなく、行きはあるが帰りがないという状況なので、運行を考えてもらえませんか。	イコバス町内巡回について、利用状況を見てルート及びダイヤ見直しをしたところですが、久原線の利用は少ないのが現状です。今年1年様子を見て今後を決めたいと思っています。要望があるところに全部回すと時間がかかりかかります。現在、検証中ですので、多くの人が幅広く使えるようにできるところは改善していきます。
	イコバスの改正があってから、篠栗駅前からバスが出る時刻とJRが着く時刻が同じということが多々あります。駅前から誰も乗車しないバスもあり、交通の不便さから若い子たちが町から出ていかないよう、利用者の声を聴くために車内に紙を置いて調査を一定期間おこなったりできませんか。	イコバスの運行については、トリアスでの西鉄バスとの接続も考慮しています。一方に合わせれば一方が合わないということになり、どこかで折り合いをつけないといけません。これ以上便数を増やすとなると、バス1台で1,000万円ほどかかることとなりますが、町民の皆さんの中には利用する人、しない人がいるので、そこだけに経費をかけることはできません。今後も継続して改善を行っていきます。
	イコバスで、東久原バス停からトリアス直通がなくなっており、高齢者なので療育園前バス停まで歩くのがつらく感じます。また、山田回りも東久原には来ません。日に1便でもよいので巡回できないのでしょうか。	久原の利用が少ない現状においては、難しいかもしれません。コミュニティバスだけではなく、その他の方法も考えなければならず、もう少しお時間をいただければと思います。また、本日のご意見は、福祉的な観点からも考えていく良い機会になったので、関係各課で検討していきます。

	質 問 内 容	回 答
	イコバスについて、土井方面に乗り入れることはできないのでしょうか。	イコバスについては、全町的にどう運行するのかを日々検討しています。高校生の通学の点から考えると高校の場所によっても乗る時間帯が異なり、どちらかに合わせると、もう一方に支障が出るなど、全体がOKとなることは難しいと思います。皆さんからの意見をいただきながら、引き続き検討していきたいと思います。
	イコバスと新宮町のコミュニティバスとの連絡はどうなっているのですか。	新宮町コミュニティバスの佐屋バス停までの延伸については、利用者数などを考えると難しい状況です。学校によって登校時間なども違うため調整は容易ではありません。
広報・PR	HPが受賞したとのことですが、アクセス数はどれくらいですか。	1日600件程度でしたが、受賞後、一次的に1,300件程度に増えました。
	高齢化率など今回の資料はHPなどで公表するのですか。	今回の資料は本日お帰りの際にお配りしますが、ホームページでも公表する方向で考えています。
教 育	中学校給食の実施を求める人がいるのではないですか。	現在のランチサービスは導入に約6,000万円かかっています。給食にすると施設の建設費と更に継続的に維持費がかかっていくこととなり、この建設費と維持費については、住民全体でその経費負担をしていくこととなります。また、給食にはアレルギー管理の課題もあります。食育の取り組みは必要と考えていますので、給食を導入するときは、それらも含めて考えていく必要があります。未来の町民にとってもより良い形を考えていきます。
	久山町では小中学校でのいじめはありますか。	県の調査があり、いじめの認知件数の報告を求められています。積極的にいじめを認知しているので、件数としてはありますが、大きな問題となるものは現時点ではありません。
	子どもたちの心の健康が一番大事。予防が大切ですが、その方策をとっていますか。	保護者にとって、子どもを安心して学校へ送り出せることが大事です。実態把握には、年に1回QUアンケートを行っています。これにより、クラスのまとまりや、孤独感を抱いている子の把握などができています。また、いじめアンケート調査を毎月、面談も学期に一度行い、校内に相談ポストも設置しています。いじめは未然に防止することが大事と認識して取り組んでいます。
	中学校部活指導の地域移行について、2025年からと聞いていますが、久山町はどう変わっていくのですか。	全国的に地域移行が難しい市町村が多いようです。加えて部員数が少ないため、複数の中学校で合同チームを作ってそこに指導者を派遣することなどが検討されています。久山中学校では、校長先生を中心に、どのような体制が可能なのかを含め、久山中学校の現状にあったひさやま方式を作っていく準備をしているところです。
	コロナの時期にシルバー人材センターで中学校の消毒作業に従事し、その際中学生が下校時に感謝の線に立ちあいさつをしているところを見て感銘を受けると同時に、町の道徳教育のすばらしさに感銘を受けました。引き続き道徳教育に取り組んでほしい。	他の市町村にはない40年以上続く取り組みですので、これからも引き続き取り組んでまいります。
	道路でスケートボードで遊ぶ子が多く、以前注意したら反対に文句を言われました。交通安全に対する指導はできないのでしょうか。	子どもたちの指導に関して、学校に再度指示をしたいと思います。引き続き子どもの見守りをお願いします。
	子どもの学校からのお知らせが紙なので、電子化してペーパーレスにできるといいと思います。子どもがなくなったりせずよいのではないのでしょうか。	ペーパーレス化について、学校も検討する必要があると思います。ただし、そのために業務が増えると本末転倒になるので、学校と話をしていきたいと思います。
行財政	役場の仕事について、職員の負担が大きいのと思います。限界を超えているのではないのでしょうか。職員のモチベーションが高くないと住民サービスにも影響が出るのではないのでしょうか。	国の制度が変わっているので、久山町だけでなく多くの自治体が対応に追われているのが現状です。案件が複雑化していて個別に割く労力と時間が限られてきていますので、職員が直接行うよりも外部で行うことが効率的なものはアウトソーシングしたいと考えます。日々の業務が大変でも、その仕事が住民のためになるのであれば、職員のモチベーションアップにつながると思います。職員の健康管理については、人事担当部署において新たにAIでの分析なども取り入れ迅速な対応をとれるようにしています。不調な職員については重症化しないよう対応していきます。
	町の運営について、IT化は遅れがちだと思います。役場の業務の効率化は図れないのでしょうか。	現在IT化を進めているところですが、紙で求める人もいるので、その対応も必要です。IT化については推進してまいります。
	今年度の税収と前年度の税収の差はどのくらいですか。また、今後の税収動向はどう見込んでいますか。借金はないのでしょうか。あるとすれば一人あたりいくらでしょうか。	令和4年度決算額は約22億6,000万円、令和3年度決算額は約22億3,000万円でほぼ横ばいです。今後は法人の状況が不透明ですが、人口の増加に伴い個人住民税や固定資産税は若干増加すると見込んでいます。 未来への投資でもあるものについては、借入れをして事業を行うので借金はあります。一般会計・上水道・下水道での令和3年度末借入残高は約90億円で、住民一人当たりになると、965,000円程度となります。
	広報ひさやま、議会だより、社協だよりなど町関係の広報紙等が各戸に配布されていますが、右綴じ・左綴じとばらばらで、閉じ込むときに苦労しています。統一できないのでしょうか。	現状を調査し、統一が可能かを確認します。 ※ 町が発行する資料につきましては、標記の方法により、縦書きは右開き、横書きは左開きが基本となっています。発行物によっては文字数などの制限があり、それらを考慮すると統一は簡単にはできないようです。

	質 問 内 容	回 答
コミュニティ	町としてコミュニティ活動への参加、組合への加入などPRはやっているのですか。	<p>新しく久山町に住まわれることとなる方については、転入の際、「ようこそ久山町へ」という、組合活動へのご参加とご協力をお願いするチラシを配布し、周知しています。</p> <p>組合加入者数の減少については、現在区長会でも協議を開始したところです。コミュニティをいかに継続していくのか。この件については、これまでにない窮地に立たされています。なぜ組合に入らないのか。組合加入のメリットを打ち立てることも必要ではないでしょうか。いろいろやっても対話がないと成立しません。会話ができるのが久山町の強みです。小さな町だからできるメリットは多いと思います。一番大事なものは、今のままで留まるのではなく、良いところを残しつつ変化していくことではないかと考えます。</p> <p>一方で、このコミュニティがいいと言って転入して来られる方もおられるので、どうしたらそのような方が転入してくれるかを考えていくことも必要です。この問題は、町全体で考えていかなければならないと思っています。</p>
	草場区でさくら祭りなどを行ったところですが、グラウンドが狭いのはどうにかできないのでしょうか。入り口を変えたりして広くできるのではないですか。	今後グラウンドは必要となると思っていますので、長い目で見て最適な方法を考えていきます。
	新しくできた公園まで遠いので、草場集会所の広場をもっと使えないでしょうか。池の横を通るようなことができるといいのですが。	集会所の活用については、地域で話をしてもらって、地域に合った最適な方法を考えてもらえると良いのではないのでしょうか。
	下久原郵便局前の花壇に日の出町で花植えを行っています。地域で行っていることを知ってもらうために看板を設置したいと考えていますが、町で何とかできないのでしょうか。	こういった活動をお知らせすることは大事なことだと思います。町としても看板の設置等について対応をしていきます。
	草場駐車場の件で、入って左はフェンスがありますが、右はフェンスがありません。バックしている時、子どもが出てきても見えづらく危ないので何らかの対策ができないのでしょうか。	安全面の問題があるので、現場を確認します。色々な問題があると思いますが、気付いたことがあれば気軽に区長を通して町に要望して下さい。
土地利用	若葉荘の前の土地について、有効利用ができないのでしょうか。	<p>当該土地を有効活用していくことが私の仕事だと思っていますし、大きな使命だと認識しています。</p> <p>有効利用はこれからの久山町にとって重要な案件の一つであり、久山の原動力となる使い方を考えていきます。</p>
	過去に、東陽台前の町有地に町営住宅が建つという話がありましたが、その後、どうなったのですか。	当時は町営住宅を増やしていく状況だったのかもしれませんが、今はその状況にないので、建設計画はありません。
産業振興	久山町の事業者は、零細企業も多く利益は上がっているのでしょうか。倒産などにならないよう、行政としてバックアップすることはできないのでしょうか。	久山町では商工会を通じプレミアム商品券の発行補助を行い町内の企業に対しバックアップを行っています。商工会は頑張っておられ、他の自治体からも久山町商工会は頑張っていると言われていますが、久山町は夜開けている店が少なく、なかなか収益に結び付いていないのが現状です。商工会とも協議しながらよりよい支援を継続していきます。
農林業振興	農業で力を入れていることは何ですか。これから10年、農業のテクノロジー化が進むと思いますが、何か考えているのでしょうか。	現在行っていることは、この田園風景を維持するため次世代の就農者育成に向けた取り組みを行っています。また、これから進化していくであろう農業のテクノロジー化については、現在データで農作物の管理を行うe-kakashiの実証実験を行っており、新規就農者もすぐに活用できるデータ化に企業と一緒に取り組んでいます。また、ドローンを活用して航空写真を撮り、デジタル技術を活用して農作業の効率化を図る実証も行っています。
	田んぼの草刈りについて、どこまでするという基準はないのでしょうか。	明確な基準はありません。従前から、管理されている農地の周辺の草刈りを行っていただいております。
	今まで農林業を必死に守ってきた人たちが高齢化しており、5～10年後どうやって守っていくつもりですか。また、その人たちから頼まれて農地を守ろうとしている中堅層のグループを後継者として育成、支援ができないのでしょうか。	まずは、受け皿が必要であると考えています。個人にではなく組織に対し担い手支援や、農作業ができなくなった方の農地への支援が必要だと思います。農家の方とキャッチボールをしながら進めていき、農業委員会を含めて力をいれていきたいと考えています。
	農林業の振興と後継者育成に関し、若い人が関われるもの、自伐型などいろいろ考えているがなかなか難しく、小規模で関わっていきけるようなことがあれば町民へ仕組みを知らせることも必要と感ずますがいかがでしょうか。	<p>山林保全管理の方法としては、自伐型林業も一手法としては考えられます。山林保全は重要なことで、現在、町有林の一部を広葉樹に戻すことも行っており、広葉樹林にすることによって、山の保水力向上に努めています。</p> <p>農業振興については、幅広く有効な支援が必要であると考えています。物価高騰支援は行っていますが一時的なものなので、もっと効果的なものをタイムリーに支援していくことも考えていきます。</p> <p>農林業の振興については、身近な問題として考える機会を作ることが大事であり、その点については早急に協議を行いたいと思います。</p>
	農業をやっていると毎年30万円の赤字を出しています。農家はそこまでして農地を守らなければならないのですか。	農業と林業の振興には、町として同時に支援していくことが必要であると考えています。農業委員会をはじめとした農家の方々とこの問題を話し合いながら、農林業が続けられるようにしていきたいと考えています。
観光	隣町に1杯800円のコーヒーを出す店ができました。夕方4時でも20～30人ほど入っています。遠方から来ている客もいるとのことですが、町内にもそういう店があればいいのですが。	以前に比べるとお店も増えましたが、久山でもそういう楽しい店ができると良いと考えています。
	斎宮は江戸時代までは伊野皇大神宮の下宮として、このお宮二つセットで保護されていました。伊野皇大神宮と同じように斎宮もPRができないのでしょうか。	<p>持ち帰り、検討します。</p> <p>※ 斎宮については、山田小学校の児童が絵本を製作しています。また、文化協会でも文化財めぐりなどを行っており、そうした際にも紹介していきます。観光ガイドブックなどへの掲載を今後検討します。</p>
	猪野地区へ町外から来客が増えていますが、渋滞やごみなど迷惑なところもあるので何か対策はできないのでしょうか。	<p>町としては猪野のホテルなどについてPRを控えています。一般の方のSNSやブログなどの情報発信により、興味を持たれて来られる方はおられると思います。渋滞は夏の川遊びの時期と捉えていますが、交通誘導員による交通整理を猪野区にお願いして対応していただいています。</p> <p>今後、渋滞緩和を含めた課題に対し、伊野皇大神宮から先をどのような土地利用を行っていくかを考える必要があると考えています。</p>

	質 問 内 容	回 答
水 道	全国的に水道事業の民間委託が増えていると聞きます。老朽管のやり替え費用などが増え、民間委託になってしまったりしないのでしょうか。	町の水道事業については、現在企業会計の中で水道使用料等により事業を行っています。本町においては都市圏の他自治体と異なり水道企業団から水を購入せず、すべて自己水源で給水しており、水道経営状況も良好で、近隣自治体と比較しても水道料金は安価です。現状の経営により、老朽管の入替や浄水場整備など計画的に進めことができしており、民間委託は考えていません。現在人口増加を見込み自己水源を1か所追加し5か所の自己水源を確保しており、次年度浄水場のろ過地を増築し安定した給水ができるよう事業を進めています。
	人口を増やせば学校が足りなくなると言われましたが、7,500人の頃の町長が人口を15,000人に増やすと言われていました。その時に、水はどうするのかと質問したが当時の町長は、久原ダムから水はもらえるので心配する必要はないと言われていました。実際のところどうなのでしょう。	本町において人口は微増傾向にあることから、令和4年度に水道事業認可変更を行い自己水源を1か所増やし、令和6年度浄水場のろ過地を1基増築することとしています。現在、本町では人口10,000人を目標に考えていることから、町内5か所ある水源により安定給水を行える状況にあります。
子 育 て	待機児童の状況はどうなっているのですか。	待機児童の状況は、4/1時点では0でしたが、現在2名ほどいます。子どもが増えると施設不足が出てきます。現在、町内に認可保育所は2園で、1園は公設民営、1園は民設民営です。届出（認可外）保育施設は2施設あり、そちらは直接園に申し込んでもらうことになります。今年度から幼稚園の預かり保育を18時までにししました。これから先は、女性の社会復帰支援も考えなければならないと思っています。
	子どもたちへ読み聞かせをしている「まるの会」は、30年間もボランティア活動を続けています。新しいこともいいが、そういう取り組みをしている活動団体にも光を当てることはできないのでしょうか。	コロナの中で疎遠になっていたものや、人との出会いを再構築していきたいと考えています。学校やレスポアールとも協議してみなさんの活動を広く知ってもらうように周知方法について考えていきます。
	子育て世代ですが、子どもたちのことが気になります。だれ一人取り残さないで、できることをやっていきたい。子供たちはコロナ期間に、頑張っても、頑張ってもできないということを経験し、あきらめてしまうことが多い。また、子どもが1人で家にいることが多く、久山なのにこんな状況なのが悔しい。成功体験が少ないと、自分に自信が持てず、死にたいという子もいる。子ども会も加入が少ない。小さなことでいいので、子どもがわくわくすることをやりたい。子どもの相談場所も欲しい。	子どものことは複雑化しています。それに対応できるような町の体制づくりや場所づくりを考えていきます。学校に来られなくても自分の居場所ができるようにしていきたいです。今年度から小中学校で取り組んでいるプログラミングも、自分の可能性を探れる作業だと思っており、子どもたちに様々な機会を提供できるよう模索していきます。
高 齢 者 福 祉	新聞記事で出産一時金が42万円から50万円へ増えると書いてありました。後期高齢者にはそのような支援がないので、町として何らかの支援ができないのでしょうか。	町としては、シニアチャレンジ応援事業を独自政策として実施しています。高齢者の外出のきっかけづくりや心身の健康維持のために、継続できる趣味づくりにもチャレンジしていただけるような、現金給付だけではない政策を実施していきたいと考えています。
	昨年度まで10,000円で利用できた社会福祉協議会のバスが廃止され、今年度から町の事業に変わり、バス補助は25,000円を上限に半額の補助となっています。バスハイクは50,000円以上かかるので、今までの2.5～3.5倍の負担になります。負担をもう少し軽くできないのでしょうか。	バスについては1年くらい議論しました。以前は久山町社会福祉協議会（社協）がバスを持っており、維持費を町も負担していましたが、運転手の雇用が難しいことやバスの再リースに300万円/年の費用がかかること等で社協での貸し出し事業の継続が難しくなり、昨年9月から事業者へ委託されていました。バス貸し出し事業をなくす選択もありましたが、高齢者の外出が減るのは良くないと考え、今年度から町がその事業を引き継いでいます。問題は予約と費用面で、利用者負担は大きくなりますが、他の団体との公平性も考え同じように負担していただくようにしました。 マイクロバスの町負担を抑えた分、シニアチャレンジ応援事業など、新たな取り組みによって間接的に町民の皆様に還元していると考えていただければと思います。シニアが幸せでないと次の世代にはつながらないと考えています。
	ふれあい館の風呂の再稼働は可能でしょうか。	維持管理費が高額なので難しいと考えています。その分シニアの方に対し他の事でお金を使っていきたいと考えています。
都 市 計 画	都市計画の見直しについて、10年に1度見直しできると聞きました。町から要望があれば見直せるとも聞きましたが可能でしょうか。	都市計画マスタープランの見直しは、概ね5年に1度行っています。令和5年度は都市計画の見直しへ向けて進めているところです。
	久山町は市街化調整区域が97%です。自然が多くあることはいいと思いますが、今後もこの土地政策は継続していかれるのでしょうか。今後10年でどのようにしていくつもりでしょうか。	本町の土地政策では、暮らしと産業を分けており、工場の横に住宅はありません。運送の特積倉庫は条件が整えば、法律上建てるのが可能となり、制限することができません。沿道はニーズが高く、一定の税収を確保することも重要ですが、資材置き場ばかりにならないように考えていきます。
	昭和60年当時、田園都市計画では宅地1区画の面積を大きなものにするという説明があっりましたが、その計画はまだ継続されているのですか。	田園居住区整備計画のことと思いますが、田園居住区整備計画に基づき集落地区計画を策定しています。当時の最低敷地面積は、400㎡でした。その後、法律や要綱等の改定で最低敷地が緩和され、最低敷地面積が300㎡の地区や240㎡の地区があります。しかし、良好な住居環境を確保する田園居住区を整備するために集落地区計画を定めていますので、その意味においては、田園居住区整備計画は、継続しているといえます。
	草場地区は新幹線を挟んだ整備計画があると聞いていますが、計画を教えてもらえないのですか。	新幹線を越えた辺りの入り口を整える調査のための予算を今年度計上していますので、今現在整備計画があるわけではありません。既存住宅の辺りは地権者の意思もあるので、今後、協議していきたいと考えています。
無秩序な開発を抑制することはできないのですか。	久山町は、福岡インターチェンジに隣接することから、物流倉庫の土地利用需要が高い傾向にあります。加えて、市街化調整区域内で建築が不可能な土地については、トラックヤードなど建築を伴わない土地の利活用が増えてきています。特に、特積倉庫はどこにでも建てられ、土地利用は地権者の権利なので町では止められません。住宅エリアに近づかないように注意していきたいと考えています。	

	質 問 内 容	回 答
総 合 運 動 公 園	総合運動公園の計画があって久山町への移住を決めました。それから5年経ちましたがまだ何もできていません。今後どうなりますか。また、完成した後はどう管理していくのですか。	令和4年度は広場のトイレ整備と登り口に駐車場の整備を行い、令和5年度は展望広場をつくる予定です。 令和4年度まで国の補助金を活用して事業を行ってきましたが、町の要望額に対し国の補助金が半分程度しかつきませんでした。国には引き続き補助金を要望していますが、要望額全てがつかないため計画が延びています。民間企業などの活用ができないかも含め考えていきます。 完成した後は、シルバー人材センターなどを活用しながら、維持管理を行う予定です。なお、民間企業を活用した施設運営についても検討していきます。
	総合運動公園は何年度までに完成というのはあるのですか。	現時点ではコロナ対策や学校橋など、緊急を要する事業がさまざまあり、なかなか優先的に進めていけない状況です。整備をするにあたっては、国の補助金だけでなく民間資金の活用など積極的に行いたいと考えています。しかしながら、他の事業とのバランスもとりつつ行うので、工事の完成の目途はまだ明確ではありません。
	総合運動公園整備にいくらかかっているのですか。また、これから工事費や維持管理費がいくらかかるのですか。そして、それはだれが負担するのですか。	費用の詳細については、持ち帰り確認いたします。整備費については、引き続き国の補助金を活用していくこととなりますが、管理費については、町民の皆様より頂いた税金などを基に町費より捻出することとなります。 ※用地購入費、工事費を含めて、令和4年度末時点で約10億円の費用がかかっています。供用開始するまでには、1億円程度を要す見込みです。今後の維持管理費については、草刈りを含め年間300万円程度が必要となってきます。
	総合運動公園整備を打ち切るという判断はないのですか。予算が付けば終わらせるとありましたが、つかなかつたらざるざる行くのではないのですか。	いろいろな意見がありますが、ある程度の投資をして、町民にプラスになるのであれば継続するべきだと思っています。ネーミングライツなど民間と共同して運営する方法などもあります。早く整備を完了して活用できるよう考えていきます。
	運動公園のトイレの処理水が、飲料水のもととなる水路に流れ込んでいると聞きますが、正ヶ浦池にも入っているのですか。	現地を確認します。 ※ 現地を確認しましたが、運動公園のトイレの処理水は正ヶ浦池及び浄水場には入っていません。
	総合運動公園の多目的広場横にある新建川で、子どもがよく遊んでいます。以前事故もあっているの、子どもたちに気をつけて遊ぶように言っていますが、子どもが安心して水遊びができるように整備できないのでしょうか。	新建川は県営河川のため、本来であれば町から県に要望し、県が所要の整備を行うところです。しかし、危険性などで町が緊急に対応を必要とする場合は対応していきたいと考えています。
	総合運動公園の遺跡(上ヶ原古墳群)の看板があるところを、お金取ってドッグランにしてはどうですか。	現在は、予備の駐車場として残しています。アイデアとして受け取らせていただきます。
	総合運動公園の駐車場のところで、土日スケートボードをしている子どもたちがいて危険です。また、残土のところではモトクロスをしています。	現地を確認します。 ※ スケートボードにつきましては看板で禁止等の表示を行います。残土については撤去する予定です。
河 川	河川について、堆積物が多く溜まり氾濫の危険があると思います。町が浚渫を行うなどの対応が取れないのですか。	この問題は毎年、町内の河川で要望されていることであるため、全箇所を一斉に対処するという事は難しい状況にあります。河川の浚渫については、町議会でも県に対し要望をさせていただいています。ただし、越水や氾濫など危険性が高い箇所に対しては、県へ強く要望していく必要があると考えています。 県が行わないからと言って町が行えば、翌年度以降も町でできるのではということになってしまいます。また、1年だけ町が頑張っても次の年には同じような状況になり終わりがありません。
	河川へ流れ込むフラップゲート（水門）、井堰について、以前は梅雨時期前にグリスを塗り水門がきちんと動くように準備をしていました。今この作業はやられているのですか。	水門関係については、毎年梅雨時期前に現地を確認し必要な措置をとっています。
道 路	藤河～黒河線で、離合が難しい場所がありますが、拡幅の計画はないのですか。	藤河～猪野線の交通量が増えて来ています。道路幅員も狭く離合がし難い場所があることは認識しています。現道の道路拡幅の計画はありませんが、車の速度を落とさせるような安全対策を行います。
	藤河から猪野にかけての道路は車の通行が非常に多く、またスピードを出すので危険になってきています。その道路の改良工事は10年後だと聞いていますが、この道路改良を早く進めることはできませんか。	バイパスを整備する道路改良事業の測量設計を今年度一部行う予定です。土地の収用なども含めて10億円ほどかかる道路事業ですので完成までには時間がかかります。まずは、現道の速度規制などについて粕屋警察署と協議を行い、併せて看板設置などによりスピードを出させない手立てを考えています。 道路改良事業については、国の補助金を活用して実施することになりますので、予算獲得に向け、引き続き要望してまいります。
	井手の前橋から入る道は、現在7時から9時で一方通行ですが、終日にできないのですか。	終日の一方通行については、持ち帰り検討します。 ※ 交通規制に関しては、警察協議が必要となります。地元の方の同意に基づき所要の手続きを検討しますので、まずは、地元での意思統一をお願いいたします。
公 園	公園の遊具は維持管理が大変です。設置する場合は、十分協議してもらえないのでしょうか。	公園に遊具を設置することが地域の不利益になるということであれば遊具の設置は行いません。遊具の設置については、維持管理及び安全管理を含め、公園利用者や地元行政区と協議の上、遊具がないところを優先に設置に向けた協議を行っています。
	高橋池（3段池）は、すべての池に周回の遊歩道を設置するとかつて話がありましたが、その話はどうなったのですか。	現在フォレストロードとして整備しています。令和7年度に一番上の池の周回遊歩道が完成する予定です。
	草場の公園が狭いのでどうかしてほしい。雨の翌日、水たまりだらけで一週間くらい水はけが悪く、遊具の周りは特に水がたまっているので改善できませんか。	草場地区の人口増に伴い、一定の広さのグラウンドは必要と感じます。現時点ではまとまった用地がなく、すぐに整備することはできませんが、他の整備経過等に合わせて検討していきたいと考えています。水はけ不良については現状を確認します。
	池の縁に柵がなく子どもが遊んでいて危ないので、草場池周辺を遊歩道のように整備できないのですか。	できるだけ遊歩道を整備したいと思っていますが、他地区で整備中のところがあり、順番もあります。周辺に子どもが増えているので、危ないとは思いますが。管理の関係もあるので引き続き検討させていただきます。
	サッカーに熱心な住民がいて、小さな公園で親子で練習していますが、ゴールネットがありません。バスケットゴールもありません。そういう設備を整えると、底辺が広がり、中学校の部活動生も増えると思いますがいかがでしょうか。	サッカーゴールは危険なので簡単には設置できませんが、バスケットのゴールはニーズが高いので、要望に基づき設置について考えていきます。

	質 問 内 容	回 答
街灯設置	土井までの道路の歩道に街灯がなく通学する学生などが危険じゃないかと思えます。街灯の整備はできないのでしょうか。	言われている箇所は、福岡市側の県道になりますが、町民が通行する際に危険であるとのことで、県に働きかけていきます。
	街灯がないところがあり、真っ暗で危険です。防犯のためにも外灯の整備はできないのでしょうか。	暗いところも多いので、できるだけ設置していくようにしています。順番もありますが、電気代などの維持費は行政区で負担していただいていますので、行政区を通して要望をしてください。
交通安全	学校橋架け替え工事について、工事の進捗状況をきめ細やかに町民へ向けて報告することはできないのでしょうか。	長きにわたりご迷惑をおかけしています。工事の進捗について、HPやKBC放送のdポタン広報誌などを通じて報告してまいります。
	C&Cセンター前から大浦にかけての歩道について以前はラブアース、道路愛護デー時に区民の方々と協力して除草していましたが、県道の歩道なのでラブアース時に除草しなくてよいと言われました。除草作業が大変となるため歩道の舗装などの対応は可能でしょうか。	除草に関しては、町内の他の地区にも同様の状況が発生しており、町全体の課題ととらえ総合的に判断していきます。舗装については、県道となりますので、県に対し歩道整備の要望を続けていきます。
	篠栗駅発のイコバス大浦バス停は、九大演習林側にあり、降車後、県道を渡らなければならない、横断歩道もなく、また見通しも悪く大変危険です。横断歩道を設置するなどの安全対策はできないのでしょうか。	横断歩道の設置は、場所的にも無理なので、ほかの方法を考えていきます。
	C&Cセンター前から大浦にかけての歩道について、自転車と歩行者が同時に通行できるよう改良はできないのでしょうか。	現地を確認します。 ※ 県道になりますので、県がこの箇所の改良工事を行う際に自転車専用レーンの設置等を協議して行きたいと考えております。
	集落内から工場団地に抜ける道路で、トラックの通行が多くなってきていますが、規制することはできないのでしょうか。	工場に隣接する区域では、確かに大型トラックは増えています。新たに開発された企業に対し、集落内を通行しないよう協力依頼はしていますが、なかなか守ってもらえていないのが現状です。引き続き企業に協力要請をするとともに、規制について粕屋警察署と協議を進めていきます。
生活環境	工場からの排水について泡も結構出ています。検査は行っているのですか。	保健所と一緒に役場職員も立会して現場確認をしています。検査の結果については、基準値は超えていません。引き続き、通報があった際には職員が状況を確認し、必要があれば指導してまいります。
	須賀神社の落ち葉が大量で、日曜日に燃やしているが手に負えません。清掃ボランティアなどで出た枝葉の処理について、町で何とかできないのですか。	ごみ袋の提供等で対応していくなどが考えられます。今後の課題として検討していきます。
	LINEで粗大ごみの申請などができると便利なのですが。	LINEの活用を含め電子申請についてはこれから検証して、できることはやっていきます。
その他	久山町の海拔がどれくらいか知らせる方法はないのですか。	海拔がどれくらいになるものか、調べてみるのも面白いかもしれません。 ※ 国土地理院のウェブ地図「地理院地図」(https://maps.gsi.go.jp/) で、現在地の標高がスマートフォンなどで瞬時に確認することができます。 標高 久山町役場 41.8m 深井交差点 23.5m 下山田交差点 28.7m
	レオロジー機能性食品研究所はどうなったのですか。	平成7年に国、町、民間企業が出資し、久山町の健康づくりの一環として機能性食品の開発を目的に設立された法人です。現在、町は地権者及び理事としての関わりのみとなっています。
	議員がいつまでも木子里のことを言うのをどうにかできないのですか。	言論の自由はありますが、内容に間違いがあるときは、都度、議会において訂正がされています。